

第1回及び第2回会議での意見集約資料

参考資料1

| 大分類         | 意見・キーワード   |
|-------------|--|
| ↑<br>未来ビジョン | <ul style="list-style-type: none"> <li>・外から来た人と一体となって賑わいを創出する空間</li> <li>・呉の目指す観光都市への生まれ変わり</li> <li>・呉の人がまちを好きになる、誇りに思える、自慢に思える、住み続けたい空間</li> <li>・多くの人が関わり、積み上げ、最終的に好きになる</li> <li>・まちに出たくなる、他都市に自慢できる、シビックプライドを醸成するような空間</li> <li>・世界からも目を惹く、類を見ない突き抜けた空間</li> <li>・ここにすれば呉を好きになる空間、「ココレ公園」</li> <li>・港と歴史を体感できる空間</li> <li>・呉の自慢、誇りとなる空間</li> <li>・食、素敵な空間のあるチャレンジのできる空間</li> <li>・色々な試みを積み重ねながら20年後をつくっていく空間</li> <li>・川や緑の自然をうまく活かしてさらに伸ばしていく空間</li> <li>・大人も子どもも伸び伸び使える空間</li> <li>・よく遊んだことが子どもの記憶に残り、まちを盛り上げるプレーヤーへと育てる、それが脈々と繋がるような空間</li> <li>・未来の足かせにならないような、まちの状況にあわせて変化するような自由度をもった形で考える</li> <li>・共生できる空間(人と人、子どもから高齢者、人と自然)、それが多様な人を惹きつけている</li> <li>・多様な世代が日頃から楽しめる空間</li> <li>・大人が楽しみ、子どもを見守る、新しい原風景のある空間</li> <li>・誰もが楽しく自由に集える空間</li> <li>・ランドマークとなる空間</li> <li>・市民がまちを誇りに思えるような空間(食、景観、自然)</li> <li>・20年かけて段階的に育てる空間</li> <li>・川を中心にくつろげ、緑に囲まれた映える空間</li> <li>・多世代が安心して滞在・交流できる空間</li> </ul> |
| 2-1 基本方針    | 特になし   |

| 大分類                  | 意見・キーワード           |  |   |
|----------------------|--------------------|--|---|
|                      | 中分類 (視点)           | 第2回_意見キーワード  | 第1回意見キーワード  |
| 2-2<br>アクティビティとコンテンツ | ① 暑い日も、雨の日も座る・くつろぐ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・椅子があり、コーヒーを飲みながらゆっくり過ごすなど、ちょっとしたきっかけが滞在性の向上につながる</li> <li>・衛生面に加え防犯や安全面に配慮したトイレ環境</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・座れる場所、ベンチやイス、日影があると、滞在時間が長くなる</li> <li>・屋根があるなど天気に関係なく遊べる場所があると良い</li> <li>・木陰にベンチを設置</li> <li>・蔵本通りの歩道側から川に向かって芝生を敷いて、そこにコンテナや飲食施設があり、川沿いにベンチをおいたり、木陰を作る</li> <li>・階段などで座って会話できる空間も良い。</li> <li>・子供が遊べる空間(ゲーム部屋)を作ってはどうか</li> <li>・公園は、夏は暑く、冬は寒い。また雨も降る。</li> <li>・日陰が少ない。大きな木や自然があまりない</li> <li>・「くつろぐ」公園</li> <li>・きれいなトイレを作る</li> <li>・子供が使いやすいトイレ、広いトイレがあると良い。子供二人同時に連れて行ったり、荷物を持って行ったり、ベビーカーであったりするので広いトイレが良いと思う。また、おむつ交換台があるかどうかなど、そのような配慮があり、加えて清潔面が重要なポイント</li> <li>・一番直していかないとイケないのはトイレ</li> <li>・きれいなトイレがあると良い空間であると思う。</li> </ul> |
|                      | ② 自由に集い、学ぶ・働く      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代が集え、繋がり、互いの経験を共有する場所が気軽に行くことができる公園内にあるといい</li> <li>・中高生の居場所が必要で何かきっかけがあれば空間を利用する。Wi-fiや飲食施設に加え、図書館よりも気軽に勉強ができ、その合間にリラックスできるような空間・場所があるといい</li> <li>・動物と触れ合える場所</li> <li>・誰もが楽しく自由に集える空間</li> <li>・多世代が安心して滞在・交流できる空間</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「全世代が日常的に楽しめる公園へ」</li> <li>・だれでも参加できるイベントがもっと増えるといい</li> <li>・子供が遊べる空間(ゲーム部屋)を作ってはどうか</li> <li>・イベント以外で日常的に賑わう公園</li> <li>・「あさまち」は、単なるイベントではなく、周辺経済の活性化も目的であった。</li> <li>・イベントを通じた新規事業者のチャレンジの場づくり</li> <li>・中央公園にあったら良いと思うもの、ベスト3はキッチンカーやコーヒースタンド等の「飲食サービス」、「Wi-Fiスポット」、食事や読書をする「テーブル・イスセット」(都市再生推進法人 SYL と共同調査)</li> <li>・「Wi-Fi提供」など新たな機能が求められている</li> <li>・図書館から横断歩道を渡ることなく、2階デッキから公園に直接アクセスできるような方がいい。</li> <li>・(5ブロック)図書館に近いので、学生が勉強をしたり、ワーキングができる場所となり得るポテンシャル</li> <li>・「まなぶ」公園</li> <li>・住んでいる人のための公園整備</li> </ul>                  |

| 大分類                  | 意見・キーワード         |   |   |
|----------------------|------------------|---|---|
|                      | 中分類（視点）          | 第1回意見キーワード  |   |
| 2-2<br>アクティビティとコンテンツ | ③志を持ってチャレンジする    | <ul style="list-style-type: none"> <li>得意なことを持つ市民で、チャレンジしたい人をサポートするような場所・体制があると良い</li> <li>食、素敵な空間のあるチャレンジのできる空間</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>売店跡地の実験的な活用(トライアルサンディング)の実施</li> <li>若い方が活躍できるような取組</li> <li>小さな取組を継続的に重ねていくことによって、「アクションとそこからのフィードバックを繰り返して将来像を目指す」</li> <li>「小さな取り組みの延長線上において公園を使い倒す」</li> <li>「ためす」公園</li> <li>イベントを通じた新規事業者のチャレンジの場づくり</li> </ul>  |
|                      | ④大人も子どもも本気で遊ぶ    | <ul style="list-style-type: none"> <li>遊び道具の貸し出しや大型遊具の常設</li> <li>大人も子どもと一緒に遊べる遊具</li> <li>頭を使いながら遊べる遊具</li> <li>大人も子どもも伸び伸び使える空間</li> <li>よく遊んだことが子どもの記憶に残り、まちを盛り上げるプレーヤーへと育てる、それが脈々と繋がるような空間</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>「全世代が日常的に楽しめる公園へ」</li> <li>だれでも参加できるイベントがもっと増えるといい</li> <li>インクルーシブな遊具の設置</li> <li>運動器具などを増やしていけばいい</li> <li>公園に子供を連れて行くと思うポイントとして、子供が好きな遊具があるか、広さなどがポイント</li> <li>「芝生、遊びの公園」</li> <li>遊びの中でもスケートボードなどの「ストリート」を意識した遊び</li> <li>「動く」「あそぶ」公園</li> </ul>  |
|                      | ⑤おなかを満たす・食に舌鼓を打つ | <ul style="list-style-type: none"> <li>「よいまちくれパル」の開催；具を食のまちに</li> <li>川辺で飲食できるようなテラス機能</li> <li>商店街やリノベーションまちづくりとの連携</li> <li>外国人や外での飲食が好き。公園内で気軽に飲食できると良い</li> <li>食のまちとなるような拠点機能、三ツ星レストラン誘致</li> <li>食、素敵な空間のあるチャレンジのできる空間</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>川を見ながら友人と会食が出来るなど、「川を表に出していく」と良い。</li> <li>屋台を訪れた人が川のほとりまで行って、テーブル・椅子で食事が出来たりする</li> <li>蔵本通りの歩道側から川に向かって芝生を敷いて、そこにコンテナや飲食施設があり、川沿いにベンチをおいたり、木陰を作る</li> <li>中央公園にあつたら良いと思うもの、ベスト3はキッチンカーやコーヒースタンド等の「飲食サービス」、「Wi-Fiスポット」、食事や読書をする「テーブルイスセット」(都市再生推進法人 SYL と共同調査)</li> <li>「飲食サービス」など新たな機能が求められている</li> <li>常設のオープンテラス、テイクアウトも可能なカフェの設置</li> <li>カフェがあつてゆっくり過ごせる</li> <li>蔵本通りの歩道から川に向かって芝生を敷いてそこにコンテナや飲食施設等を作る</li> <li>「フード提供する公園」</li> <li>「たべる」公園</li> </ul> |
|                      | ⑥文化・芸術を体感する      |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館から横断歩道を渡るのではなく、2階デッキから公園に直接アクセスしたい</li> <li>5ブロックは図書館が目前なので、「アカデミックな感じのライブラリーカフェ」</li> <li>5ブロックは図書館が目前なので、「アカデミックな感じのライブラリーカフェ」</li> <li>駅から自然に歩いてしまうような、美術館的なものであるとか、オブジェ等があれば歩くのではないかと</li> <li>「感動する」、「表現する」公園</li> <li>「アートや芸術に触れられる公園」</li> <li>日本中から来なくなる公園</li> </ul>   |
|                      | ⑦みどりのチカラで誘い込まれる  | <ul style="list-style-type: none"> <li>川や緑の自然をうまく生かしてさらに伸ばしていく空間</li> <li>人と自然の共生</li> <li>川を中心にくつろげ、緑に囲まれた映える空間</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>公園を盛り上げるテクニックとしての緑に対する考え方</li> <li>もう少し木や、水が汲めるところや、自然に触れられるものがあればいい</li> <li>芝生が大事だと思う。芝生があれば、寝転んだり、座ったりして写真を撮ることができる</li> <li>特に若者は「映え」を重視するため、緑が多ければ良いと思う。</li> <li>芝生がいい、座っていて気持ちが良い</li> <li>蔵本通りの歩道から川に向かって芝生を敷く</li> <li>子供を公園に連れて行くことを考えると、砂ではなく、芝生がある公園だとありがたい。芝生を敷けば、ボール遊びなどもっと自然を使いたいと思えるような場所になると思う</li> <li>「芝生、遊びの公園」</li> </ul>   |
|                      | ⑧夜の演出に酔いしれる      |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>夜は川側に行くとき暗いので、灯りをつけ、明るい空間づくりができるようになれば、魅力が高まるのではないかと</li> <li>木が多いので、屋間はきれいだが、夕方以降、歩こうと思ったら防犯面で怖いイメージ</li> <li>蔵本通りの歩道と車道や公園の間の植栽が伸び過ぎていて、視線が遮られていて怖い。</li> <li>夜は怖い</li> <li>現在の公園は暗い</li> <li>公園を盛り上げるテクニックとしての光の使い方</li> </ul>  |

| 大分類           | 意見・キーワード           |   |  |
|---------------|--------------------|---|--|
|               | 中分類（視点）            |   |  |
|               | ⑨ 気の向くままに歩く        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・堺川通りは遊歩道整備のために車道を狭めるなども検討すべき</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道31号あたりから市役所まで、ひとつのブロック、通路をつくって、公園としての普段使いとリフレッシュしながら歩く</li> <li>・国道31号線より北側で、東西方向の橋や道路を歩行者専用通路にする</li> <li>・将来的には1~4ブロック、5~8ブロックの間の道路の一部を歩行者専用として動線を確保し、川沿いの散策をしやすくなると良いと思う。</li> <li>・ブロック間の橋を一つか二つ歩行者専用化し、ブロックを大きくしてもいいのではないと思う</li> <li>・外から来た方が歩きたくなる仕掛けみたいなものも、連続した場所なので必要なのではないか</li> <li>・散歩しやすい道</li> <li>・人が歩いていない</li> <li>・ウォーカブルなまちにしていきたい</li> <li>・8つのブロックに分かれていて使いにくい</li> <li>・通るという機能が弱い</li> </ul> |
|               | ⑩ 快適にアクセスする        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場はたくさんあるが無料になる駐車場がない</li> <li>・駐車場を1箇所にまとめる</li> <li>・この場所へアクセスするための駐車場必要。駐車場の場所などの情報発信も重要</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・川向こうの駐車場も一体型の公園にする</li> <li>・図書館から横断歩道を渡るのではなく、2階デッキから公園に直接アクセスしたい</li> <li>・公園へのアクセス性が良くなれば、公園を使ってくれるのではないかと。</li> <li>・駐車場の無料化(神田, 土井脇, 北岡)</li> <li>・ウォーカブルなまちづくりには新しい公共交通が重要</li> <li>・公園に子供を連れて行こうと思うポイントとして、駐車場の有無などアクセス性は大きなポイントとなる。</li> <li>・公園に子供を連れて行こうと思うポイントとして、安全な環境であるか、などもポイントとなる</li> <li>・案内・サインをピクトグラム</li> </ul>   |
|               | ⑪ 世界の関心を惹く付ける      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界中から人が訪れるような、ランドマークとなる建物と機能(グッゲンハイム美術館(ビルバオ等))</li> <li>・世界から人がくるような仕掛け(ウィスパリングギャラリー; 声を届ける遊び機能(ニューヨークグランドセントラルターミナル))</li> <li>・外から来た人と一体となって賑わいを創出する空間</li> <li>・呉の目指す観光都市への生まれ変わり</li> <li>・世界からも目を惹く、類を見ない突き抜けた空間</li> <li>・ランドマークとなる空間</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「にぎわいの日常を生む」、「適度ににぎわいが生まれるエリア」を目指す</li> </ul>  |
| 2-3<br>空間の再構築 | ① 川をまちの中心に         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・川を中心に多くの人をまちに呼びこむ</li> <li>・川は水位が変化するなど飽きない。この変化を生む川を大事にした空間であるとよい</li> <li>・川沿いのエリアは本当は価値が高く、主役になるべき</li> <li>・川を感じられるような植栽の配置を見直す</li> <li>・川沿いの駐車場の空間がかわれば、川沿いの建物が川に向いてくるのではないかと</li> <li>・呉は水に触れ合える場所が少ない、噴水や子供が水に触れ合える場所、大人が川の流れを楽しめる場所</li> <li>・川に近づけるデッキがあったり、椅子があってゆっくり川を見ながら過ごせると良い</li> <li>・川沿いに、水を利用した遊具</li> <li>・川を中心にすることが地域の価値を高める</li> <li>・川沿いの駐車場を公園とするなど魅力あるエリアをつくる</li> <li>・川沿いを縦方向に歩けるような工夫</li> <li>・川沿いの駐車場・駐輪場機能の転換</li> <li>・川を利用できる機能(SUP, 雁木)</li> <li>・川辺で飲食できるようなテラス機能</li> <li>・川や緑の自然をうまく活かしてさらに伸ばしていく空間</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・堺川両側は「街の表」になるべきでこれが「街全体の回遊性の向上」「にぎわいづくり」に繋がる。</li> <li>・川を見ながら友人と会食が出来るなど、「川を表に出していく」と良い。</li> <li>・川向こうの駐車場も一体型の公園にする</li> <li>・川の上の広場空間を延ばして公園の幅を広げる</li> <li>・川を取り込んで一体的な公園</li> <li>・川沿いの駐車場をなくして、川との景観を重視したデザイン</li> <li>・屋台を訪れた人が川のほとりまで行って、テーブル・椅子で食事が出来たりする</li> <li>・川向うの利用は一体的なコンセプトで何かできればいい。駐車場以外の使い方で</li> <li>・堺川東側が「街の裏」になっている</li> </ul>   |
|               | ② 一体的な広場と見立て、空間を繋ぐ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・堺川通りは遊歩道整備のために車道を狭めるなども検討すべき</li> <li>・川沿いを南北方向に歩けるような工夫</li> <li>・歩行空間化できない道路は共存しているような視覚的なデザイン</li> <li>・ブロックごとをつないでいくことが重要</li> <li>・商店街と公園・河川を駐車場が分断している</li> <li>・公園と図書館の一体化</li> <li>・小さなブロックとしてあった公園が大きなひとまとまりになって使いやすくなるのはとても良い</li> <li>・商店街と川沿いの空間の一体化</li> <li>・1~4ブロックを高架化し、呉駅からデッキで接続することも考えられる</li> <li>・車道として残す場合でも共存的な道路としての見せ方</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・呉駅周辺地域の整備で居住者が増える可能性も踏まえ、住んでいる人のための公園整備もあるも必要</li> <li>・図書館から横断歩道だけでなく、2階デッキから公園直接アクセスさせたい</li> <li>・道路の機能を公園にうつして、2つ3つの公園空間を繋げてしまう</li> <li>・空間を繋いでいくことが視点が大事</li> </ul>  |
|               | ③ ハレケを演出する         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に大人が楽しく遊んでいることで、子供も安心して遊べる</li> <li>・多様な世代が日頃から楽しめる空間</li> <li>・大人が楽しみ、子どもを見守る、新しい原風景のある空間</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「全世代が日常的に楽しめる公園へ」</li> <li>・だれでも参加できるイベントがもっと増えるといい</li> </ul>   |

| 大分類            | 意見・キーワード             |   |   |
|----------------|----------------------|---|---|
|                | 中分類（視点）              | 第1回意見キーワード  |   |
| 2-3<br>空間の再構築  | ④ゾーンコンセプトによって命を吹き込む  | <p>第2回 意見キーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川を意識して各ブロックや全体コンセプトを考えられないか</li> <li>・色々なグラデーション、混ざり合うのでなくマーブル・柄のような空間</li> <li>・個別にコンセプトがありながら、1つまたは群として一体的なコンセプトのある公園</li> <li>・橋を歩行者空間化して4つ程度のブロックにしては</li> <li>・8ブロックは大人も子どもも集える場所。図書館周りは静かに本を読めるエリアなど</li> <li>・5～8ブロックは一般の人が使うエリア</li> <li>・1, 2ブロックは呉駅や大和ミュージアムから人が訪れるエリア</li> <li>・大人が楽しめる空間</li> <li>・車道として残す場合でも共存的な道路としての見せ方</li> </ul> | <p>第1回意見キーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川沿いの駐車場をなくして、川との景観を重視したデザイン</li> <li>・「動詞」によってブロックの特性を位置付けた。全ブロック共通で「憩う」「歩く」とし、ブロックごとに「動く・感動・つるぐ・表現・学ぶ・試す・食べる・遊ぶ」の動詞を示した。（都市再生推進法人 SYL と共同調査から田中）</li> <li>・特徴ある「もの」がブロックごとに埋め込まれていけば、全世代が日常的に楽しめる公園が実現するのではないか</li> <li>・ブロック毎のコンセプトのイメージ、「このゾーンはこういった機能」ということが見えてくるといい</li> <li>・各ブロックにテーマを持たせた構想</li> <li>・道路の機能を公園にうつして、2つ3つの公園空間を繋げてしまう</li> <li>・国道31号あたりから市役所まで、ひとつのブロック、通路をつかって、公園としての普段使いとリフレッシュしながら歩く</li> <li>・国道31号線より北側で、東西方向の橋や道路を歩行者専用通路にする</li> <li>・将来的には1～4ブロック、5～8ブロックの間の道路の一部を歩行者専用として動線を確保</li> <li>・ブロック間の橋を一つか二つ歩行者専用化し、ブロックを大きくしてもいいのではないかと思う</li> <li>・公園がブロックごとに分断されている</li> <li>・8つのブロックに分かれていて使いにくい</li> <li>・図書館から横断歩道を渡るのではなく、2階デッキから公園に直接アクセスしたい</li> <li>・5ブロックは図書館が目の前なので、「アカデミックな感じのライブラリーカフェ」</li> <li>・売店跡地の実験的な活用(トライアルサンディング)の実施</li> </ul> |
| 2-4<br>デザイン・設え | ①呉を体感するデザイン          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・呉の造船や鉄の技術を使った建築デザイン</li> <li>・U2のような、写真をとって、SNSに発信したくなる呉らしいデザイン</li> <li>・呉には海などの美しい景観がある</li> <li>・色のデザイン</li> <li>・港と歴史を体感できる空間</li> <li>・ランドマークとなる空間</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物は呉らしさを出すため、「造船技術・鉄」を使った建物</li> <li>・造船技術を生かしたオブジェがあると観光客にも評判が良い</li> </ul>   |
|                | ②インクルーシブなデザイン        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベビーカー・自転車・車椅子でも使いやすいデザイン</li> <li>・衛生面に加え防犯や安全面に配慮したトイレ環境</li> <li>・雨が降ると松葉杖や車椅子の移動は大変</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「全世代が日常的に楽しめる公園へ」</li> <li>・だれでも参加できるイベントがもっと増えるといい</li> <li>・インクルーシブなみんなの空間</li> <li>・多様な方が安心して過ごせる空間づくりができれば良い。</li> <li>・ユニバーサルデザインの席を設置する</li> <li>・インクルーシブな遊具の設置</li> <li>・きれいなトイレを作る</li> <li>・子供が使いやすいトイレ、広いトイレがあると良い。子供二人同時に連れて行ったり、荷物を持って行ったり、ベビーカーであったりするので広いトイレが良いと思う。また、おむつ交換台があるかどうかなど、そのような配慮があり、加えて清潔面が重要なポイント</li> <li>・一番直していかないといけないのはトイレ</li> <li>・きれいなトイレがあると良い空間であると思う。</li> </ul>   |
|                | ③沿道や周辺地との一体性を高めるデザイン | <ul style="list-style-type: none"> <li>・共通のサイン計画などで、一体性を高める</li> <li>・川沿いの駐車場の空間がかわれば、川沿いの建物が川に向く</li> <li>・車道として残す場合でも共存的な道路としての見せ方</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・川沿いの駐車場をなくして、川との景観を重視したデザイン</li> <li>・図書館から横断歩道だけでなく、2階デッキから公園直接アクセスさせたい</li> <li>・道路の機能を公園にうつして、2つ3つの公園空間を繋げてしまう</li> <li>・空間を繋いでいくことが視点が大事</li> </ul>   |
|                | ④古きを生かし新たな価値を創造する    |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今の公園は、素晴らしい歴史がある。</li> <li>・売店跡地の実験的な活用(トライアルサンディング)の実施</li> <li>・今の公園は、素晴らしい歴史がある。</li> </ul>  |

| 大分類              | 意見・キーワード          |   |   |
|------------------|-------------------|---|---|
|                  | 中分類（視点）           | 第1回意見キーワード  |   |
| 2-5<br>空間のマネジメント | ①愛される空間へ          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛されるネーミングがあると良い</li> <li>・名前の募集やフォトコンテストなど、市民が関わる機会を増やすことで、愛着を持ってもらう</li> <li>・暮らしている人の希望になる公共空間</li> <li>・呉の人がまちを好きになる、誇りに思える、自慢に思える、住み続けたい空間</li> <li>・まちに出たくなる、他都市に自慢できる、シビックプライドを醸成するような空間</li> <li>・ここにすれば呉を好きになる空間、「ココレ公園」</li> <li>・呉の自慢、誇りとなる空間</li> <li>・市民がまちを誇りに思えるような空間（食、景観、自然）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「にぎわいの日常を生む」、「適度ににぎわいが生まれるエリア」を目指す</li> <li>・呉駅周辺地域の整備で居住者が増える可能性も踏まえ、住んでいる人のための公園整備もあるも必要</li> <li>・市民の方は「中央公園」という名称に馴染みがないと感じるため、名前を公募で決めてはどうか</li> <li>・コンセプトとなる考えを実現するため、シンボルになる名前が必要</li> <li>・フォトコンテストを実施すれば、写真を撮る人がこの場所へ来訪し、写真を見ることで他の方にも公園の良さを知ってもらうことが出来るため、広報につながる</li> <li>・中央公園という名前だけでなく、もう少し広がりのある空間を検討の対象として広げられないかということで、「まちなか公共空間」という名前にしたが、「まちなか公共空間」に何か名前を付けることで、今後、より一層大事に育てていける空間になるのではないかと感じた</li> </ul>  |
|                  | ②人やまちの動きを発信する     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハッシュタグコンテストやメディアによる発信力に加えて、あらゆる人が主体的に発信するしかけ（発信力の底上げ）</li> <li>・情報発信・収集のハブになる機能が必要</li> <li>・知らないことも多くあるため、この空間について知ってもらうための取組</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・他のブロックなどに何があるか分かれば行ってみようと思うかもしれない</li> <li>・中央公園の認知度が低い</li> <li>・各ブロックなどの使用例みたいなもの、過ごし方の例を示すと分かりやすいと思う</li> <li>・フォトコンテストを実施すれば、写真を撮る人がこの場所へ来訪し、写真を見ることで他の方にも公園の良さを知ってもらうことが出来るため、広報につながる</li> <li>・イベントが一目でわかるポータルサイト、イベントカレンダーがあると良い</li> <li>・イベントの趣旨が伝えきれていない</li> <li>・他のブロックなどに何があるか分かれば行ってみようと思うかもしれない</li> <li>・各ブロックなどの使用例みたいなもの、過ごし方の例を示すと分かりやすいと思う</li> <li>・中央公園の認知度が低く、ちょっといい歩道だと思っていたため、そこで何かをするという概念がなかった。</li> <li>・使い方の提案をして、それが、興味を持って自分たちで色々な所に行きはじめる年齢の中高生に響くと、その使い方は大人になっても継続して使われていく。そうすれば、公園を使っていく文化が呉に根付くのではないかと。</li> </ul> |
|                  | ③繋がる場をつくる         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代と繋がる交流機能</li> <li>・中高生が集えるような空間：Wifi、飲食、勉強</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・だれでも参加できるイベントがもっと増えるといい</li> <li>・定期的なクリーン活動を行ってみてはどうかと思う。例えば「親子クリーン活動」「ペットとクリーン活動」など、テーマを決めるなどすると参加しやすいのではないかとと思う。</li> <li>・街の中での自然を見つける企画として、野鳥観察や樹名板づくり、ネイチャーゲーム等の企画を定期的に、呉市のボランティア団体等と協働して行う</li> <li>・固定的なメンバーで新しい風が入りにくい。学生や若者の活躍できる取組</li> <li>・「にぎわいの日常を生む」、「適度ににぎわいが生まれるエリア」を目指す</li> <li>・だれでも参加できるイベントがもっと増えるといい</li> <li>・中央公園という名前だけでなく、もう少し広がりのある空間を検討の対象として広げられないかということで、「まちなか公共空間」という名前にしたが、「まちなか公共空間」に何か名前を付けることで、今後、より一層大事に育てていける空間になるのではないかと感じた</li> </ul>  |
|                  | ④小さな取組を積み上げる      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの人が関わり、積み上げ、最終的に好きになる</li> <li>・色々な試みを積み重ねながら20年後をつくっていく空間</li> <li>・未来の足かせにならないような、まちの状況にあわせて変化できるような自由度をもった形で考える</li> <li>・20年かけて段階的に育てる空間</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小さな取組を継続的に重ねていくことによって、「アクションとそこからのフィードバックを繰り返して将来像を目指す」</li> <li>・「小さな取り組みの延長線上において公園を使い倒す」</li> <li>・「ためす」公園</li> <li>・売店跡地の実験的な活用（トライアルサンディング）の実施</li> </ul>  |
|                  | ⑤使い方のルールや運営方法を見直す | <ul style="list-style-type: none"> <li>・得意なことを持つ市民で、チャレンジしたい人をサポートするような場所・体制があると良い</li> <li>・チャレンジのできる空間</li> <li>・マナーの対策（ベンチの占拠防止など）</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・使われ方をデザインする</li> <li>・中高生の利用が少ないとあったが、ボール投げ禁止など公園の使い方の規制が多いことも影響しているのではないかとと思う。</li> <li>・使い方やルールなど、市民の話合いの場を設ける</li> <li>・自分が学生の時と雰囲気が変わっており、よく遊んでいた公園に誰も人がいなくなっていたことに気がついた。</li> <li>・これまでは、公共が主導で空間の整備・管理をしてきた経緯があるが、これからは住民の方々が主体となって管理、また、整備をしていただくような空間であるべきだと考えている。</li> <li>・行政としては、法のルールの中でどのようにしたら、やりたいことを実現できるのか、法の整理などそういったことをしっかり取り組んでいきたい</li> <li>・「ワンストップで（イベント占用利用等の）手続きできる」ようになると良い</li> <li>・もっと簡単に使用できるような窓口ができると良い</li> <li>・道路交通法などの法律に基づく許認可等の「手続きを円滑にする」ための議論していくことが重要</li> <li>・イベント利用について、利用方法を分かりやすくHPなどで提示する</li> </ul>   |